

令和3年8月4日（水）

県民生活環境部環境対策課長 江幡 一弘  
担当：水質保全G 齋藤(029-301-2966)  
防災・危機管理部原子力安全対策課長 深澤 敏幸  
担当：安全・監視G 山口(029-301-2916)

## 県内海水浴場の放射性物質調査（第3回）結果について

標記につきまして、調査の結果は下記のとおりですので、お知らせいたします。

今回、調査を行った開設中の3海水浴場については、第2回（6月25日発表）と同様に、海水浴場の海水からの放射性物質は不検出、砂浜の放射線量率については当該市町村と同等又はそれ以下でした。

### 記

#### 1 調査箇所 茨城県内17海水浴場のうち、開設中の3海水浴場

#### 2 調査時期

- (1) 海水：令和3年7月26日（月）
- (2) 砂浜：令和3年7月26日（月）

#### 3 調査内容

- (1) 海水：放射性核種分析
  - ※ ヨウ素131、セシウム134、137は、深さ約1.5mの地点の表層及び下層で採取した試料をそれぞれ測定
  - ※ トリチウムは、深さ約1.5mの地点の表層及び下層で採取した試料を混合し、1試料にして測定
- (2) 砂浜：砂浜表面、高さ50cm及び1mにおける放射線量率測定
  - ※ 1海水浴場あたり5地点で測定し、平均値を採用

#### 4 調査結果

##### (1) 海水の放射性物質濃度測定結果（資料表1）

全3海水浴場において、ヨウ素131、セシウム134、137及びトリチウムはすべて不検出<sup>\*</sup>でした。

※ 検出下限値…ヨウ素131、セシウム134、137：いずれも1Bq/L  
トリチウム：20Bq/L（環境放射線監視計画の検出下限値）

（参考1）水浴場の放射性物質に係る水質の目安

セシウム134とセシウム137の合計：10Bq/L以下

（参考2）WHO（世界保健機関）による「飲料水水質ガイドライン第4版」におけるトリチウムのガイダンスレベル：10,000Bq/L

(2) 砂浜の放射線量率測定結果（資料 表 2）

3 海水浴場において測定した結果は、0.04 ～ 0.06  $\mu$ Sv/hでした。

この値は、県が測定している当該市町村のモニタリングポストの放射線量率（高さ 1 m）  
(0.05  $\mu$ Sv/h)に比べ、同等又はそれ以下でした。

※ 調査結果は、県ホームページで公表します。

5 今年度の調査状況

	海水採水時期	砂浜測定時期	公表時期	備考
①	4月5、7、8日	4月9、12、13日	4月28日	開設（海開き）前
②	5月10、13、14、 17、18日	5月24～26日	6月25日	
今回	7月26日	7月26日	8月4日	開設期間中

表1 海水の放射性物質濃度測定結果

単位: Bq/L

	海水浴場名	所在市町村	採水日	採水深	放射性物質濃度			
					ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	トリチウム
1	阿字ヶ浦	ひたちなか市	7月26日	表層	不検出	不検出	不検出	不検出
				下層	不検出	不検出	不検出	
2	平磯	ひたちなか市	7月26日	表層	不検出	不検出	不検出	不検出
				下層	不検出	不検出	不検出	
3	大洗サンビーチ	大洗町	7月26日	表層	不検出	不検出	不検出	不検出
				下層	不検出	不検出	不検出	

※ 検出下限値(ヨウ素131、セシウム134、セシウム137はいずれも1Bq/L、トリチウムは20Bq/L)を下回る場合は、不検出と記載。

表2 砂浜の放射線量率測定結果

単位:  $\mu$  Sv/h

	海水浴場名	所在市町村	測定日	放射線量率			市町村線量率	
				地表面	50cm	1m	1m	線量率 測定地点
1	阿字ヶ浦	ひたちなか市	7月26日	0.05	0.05	0.05	0.05	堀口局
2	平磯	ひたちなか市	7月26日	0.06	0.05	0.05		
3	大洗サンビーチ	大洗町	7月26日	0.04	0.05	0.04	0.05	大貫局

※ 砂浜内の5地点を測定し、その平均値を示しています。

以下の海水浴場については、開設を中止したため、測定を実施していません。

磯原ニツ島(北茨城市)、高萩(高萩市)、伊師浜(日立市)、川尻(日立市)、会瀬(日立市)、河原子(日立市)、水木(日立市)、久慈浜(日立市)、姥の懐マリプール(ひたちなか市)、大竹海岸銚田(銚田市)、下津(鹿嶋市)、平井(鹿嶋市)、日川浜(神栖市)、波崎(神栖市)